
小説概論～活報録2012～

聖騎士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小説概論～活報録2012～

【Zコード】

N1061BA

【作者名】

聖騎士

【あらすじ】

今まで自分の書いた活動報告の中から、小説について述べたものを集めて掲載しています。

これはあくまでも僕個人の考え方なので絶対的ではないし、他の方にその考え方を押しつけるものではありません。

もちろん違う考え方の方を否定するわけでもありません。

あくまでも参考程度に考えていただければ幸いです。

これは2012年版です。2011年版とは違つて、2010年版と同じ形式で順次更新していきます。読みづらいかと思いますが、

いじめ承くだされい ま（ーー）ま

1. 新年の抱負&活動方針

タイトル 新年の「」挨拶
日付 2012年 01月 01日 (日) 12時 50分 5
8秒

【今年一発目はこの曲でスタート!】 【初音ミク】鎖の少女【オリジナル】の聖騎士の活動報告】

恋の相手は魔王様!? 【第45話】公開、【第50話】予約投稿
(1/21・12:00) 第一章完結

小説概論～活報録2011～【2011年の総括】更新《完結》

あけましておめでとうございます。

旧年中はたいへんお世話になりました。

今年もよろしくお願ひ致します。――――

この曲は以前も紹介したことがあるのですが、今の僕の気持ちに合つてるので再度紹介させていただきました。

「これからがんばるぞ」という前向きな気持ちにさせてくれるんで
すよね^ ^

昨夜はなろうとツイッターで年越しを迎えるました。

0・0・0になつた瞬間に怒濤のよつにあけおめツイートがなだれ込み、なろうの新着活報欄もあけおめ活報で一瞬のうちに埋め尽くされてしましました(へへへ)

ツイッターは程なくサーバがダウンしてしまつて入れず、なろうの方もどんどん更新されるあけおめ活報にコメントが追いつかずに途中で諦めましたw

いやあ年越しの瞬間つて、何度経験しても興奮しますねw

今年は龍年。

災害や不況をドラゴンの力で吹き飛ばしてほしいですね。

「最“強”ドラゴンの物語」にしてほしいですw

さて新年の抱負を述べてみたいと思います。

今年の目標は「現状維持」ですw

去年以上にリア重が予想されるため、とにかく今まで通り活動をするだけでたいへんな労力を必要とするんじゃないかと。

現状維持=今までよりがんばった

つてなるかなと思います。

具体的な活動としては、

「Xanadu～聖騎士物語～」 平日2,000～3,000字更新

「恋の相手は魔王様！」？ 土日祝日2,000～3,000字更新

「エンジェルティアの最強執事」 気が向いたら2,000～2,500字更新

です^ ^

たくさんの方々に読んでいただいた「小説概論」活報録2011～は、昨日完結させました。

今年もまた「小説概論」活報録2012～として記録し続けていければと思っています。

ただ形式は2010年版と同じに戻します。

2011年版の形式だと、「この小説は ケ月更新されていません」のお札がついてしまうんですね。

割り込み投稿だと更新したことにならないようですね。

お札が付けられることは嫌なので、2010年版と同じ形式にします。

別に毎回新着欄に載らなくても構わないのですが、お札が付くのは嫌なんです。

先日2011年版に付けられててショックを受けました（ーーー）
なので少し読みづらくなってしまうと思いますが、読んでくださる方が万一一いらしゃればよろしく（ア）承のほどお願いいたします（ーーー）三

お気に入りコーナー登録の基準については今まで通りです。

コメントもしくは感想を書いてくださった逆お気に入りコーナーさんに対しても、相互登録いたします。

クレクレ防止のためです。

また活動縮小は今だ続いているので、ノクタの「Sの悲劇」「小説概論」「活報録2010～」に関しては、当該読者様からOKが出次第削除いたします。

活動報告に関しては今まで通りの基準で書きます。

つまり「活動したら報告する」というスタンスです。

活動しなければならずインしても活報は書きません。

また書ける時にはなるべく今まで通りの内容で記事を書かせていただきますが、リア重の時には活動報告のみの内容になると思います。

「余談」は抜きとことつことですね。

それでも同じタイトルだと過去の記事にコメントしていただいた時
区別が付きにくないので、毎回タイトルは変えたいと思います（^_^-
^_^-）

バトンは基本的にお断りしています。

なろうは小説投稿サイトであり、活報は「活動」を「報告」する場
だと思っていてるからです。

他の方がバトンをなれる」とに關しては否定しません^_^-

楽しく拝見していますので

自分はしませんというだけです。

企画はできる限り参加したいと思っていますが大切を守れないとか
結果的に参加できなくなってしまったという結果を避けるために、
参加表明は慎重に検討したいと思っています。

基本的には何にでも参加したい派なんですが（^_^-^_^-）

適当にやつつけ仕事で書いた作品で参加する」となどになつたら、
主催者さんや他の参加者の方々に失礼ですからね。

相互さんの小説の「コンプリートを田指すのは継続していきます。

まあかなりたいへんですが、「田指す」のは構わないでしょ「う」

できる限り相互さんの新作短編は拝読致します。

連載作品は順番待ちでしょ「う」（^—^；）

それでも強く興味を惹かれた作品には飛びつきまく「w

僕の好みによりますが「w

感想をいただいた方の作品には優先的に読みにいくよにしています。

お返しの意味も込めて。

その方のお気に入り小説一覧に自分の作品を見つけたりしたら、嬉しくなつてガンガン読んじゃいますね「w」

現金なヤツですみません「w

基本的に読了したら感想は書きます。

どんな作品にでも。

気に入れば評価ポイントを入れたりレビューさせていただいたりもしています。

さらに僕が良作だと判断した場合は、作者さんに了承をいただいた上で活報で「良作紹介」として紹介させていただいてます。

基準はあくまでも僕の個人的な好みなので、「僕の個人的な好みの良作」という意味です^ ^

ガイドラインの強化に従い、活報コメント欄での“チャットのよつな会話”は「遠慮ください」。

また活報内に書く僕の考え方や意見は、あくまでも僕個人の価値観に基づいて書いています。

絶対的に正しいものではありません。

なので“悪意ある”反論や批判的意見は「遠慮ください」。

そういう“悪意ある”反論や批判的意見の方と議論するつもりはありません。

時間とエネルギーの無駄ですから。

そういう“悪意ある方”や明らかに荒らしに対しては、「完全にスルー 削除 ブロック 通報」のコンボ技で対処致します w

活報の活用方法に関しては、リニューアル以降僕なりに考えてきました。

「まだ完全にこれが正しい使い方だと限定する」とはできませんが、「活動を報告する」場だと「う」とは守っていきたいと思っています。

そしてみんな仲良く、時には創作論をぶつけ合ってお互い高めていくような場にしていければなんて思っています。

まずは「黒姫杯」参加。

続いて「童話祭2012」をどうするか。

「空想科学祭」にも参加したいし、今年も「夏ホラー」があるのなら考えたい。

沖荒さんの「月刊ワード小説賞」は4月までは参加作品を申請しています。

9月に行われるアルファポリスさんのファンタジー小説大賞には「恋魔」で参加できればいいなって思っています^ ^

問題は2月の恋愛小説大賞ですね(ーーー)

「Hンジェルティア」で参加できるかどうか。

今は恋愛といつも完全にファンタジー色の方が強いので。

今後の展開が恋愛まで追いつけば、参加も考えてみようかなと。

別サイトでのミステリ小説大賞の参加も検討中です。

電子書籍化していただけたし、競争率も低そうなのでちょっと前向きに考えています。

もし詳細を知りたい方はメッセージにてご連絡ください^ ^

今年も4月からまた少し環境が変わります。

昨年は何とか乗り越えましたが、今年はどうなるか（・_・）

とにかく一日一日をしっかりと活動していくたいなって思っています。

こんな未熟者なクソガキですが、今年もよろしくお願ひいたします

m (_ _) m

2 映画鑑賞日記～「星を追ひ歩く」

タイトル 映画鑑賞日記～「星を追ひ歩く」
日付 2012年 01月 02日 (月) 15時 09分 4
1秒

【朝から頭痛が酷くて、吐き気までしてきた聖騎士の活動報告】

Xanadu 第四章 第五節 2,278字更新
恋の相手は魔王様！？ 【閑話4】 予約投稿 (1/22,12:00)
0

もしかしたら風邪かもしません(ーーー)

薬でも飲んで休みたいと思います。

この映画は「秒速5センチメートル」で有名な新海誠さんの作品です。

昨年公開されたようなのですが、最近DVDでのレンタルが始まつたようです。

特に事前情報もなく手に取つて裏面のあらすじを読み、興味を持ったので借りてみました。

本当は去年の末に観たのですが、年末年始を挟んでしまったので今頃記事を書くことになってしましました(^_ ^)

あらすじです。

ある日、父の形見の鉱石ラジオから聴こえてきた不思議な唄。

その唄を忘れられない少女アスナは、地下世界アガルタから来たという少年シュンに出会う。

2人は心を通わせるも、少年は突然姿を消してしまう。

「もう一度あの人に会いたい」 そう願うアスナの前にシュンと瓜二つの少年シンと、妻との再会を切望しアガルタを探す教師モリサキが現れる。

そこに開かれるアガルタへの扉。

3人はそれぞれの想いを胸に、伝説の地へ旅に出る
(公式サイトより)

といつた内容です。

まず絵柄が宮崎アニメそのまんまという感じです。

僕はアニメ業界には詳しくないので、この監督さんとスタジオジブリとの関係とかわかりません。

でもかなり似通っています。

意識して描かれたのでしょうかね。

別にパクリとかそういうつもりはありませんが、純粹に「似てるなあ、ってか同じじゃん」って思いました。

絵柄だけでなく世界観もほとんど同じって印象を受けました。

宮崎作品で言えば「天空の城ラピュタ」や「千と千尋の神隠し」、「ハウルの動く城」でしょうか。

現実世界は「トトロ」ですね。

ストーリーは壮大で、全体的に一部構成になっています。

現代世界と地下世界アガルタです。

アガルタへ行つてからは、もう完全にファンタジーって感じです。

小学生のアスナには、なかなかに辛い展開が続きます。

それでも一生懸命前に進む姿には胸打たれますね＾＾

ありきたりではありますが、この映画のテーマは「成長」でしょうか。

出会いと別れ、旅と冒險を通して自分を見つめ直し生きる力を得ていいく。

対象年齢の関係か、あまり血生臭い描写はありません。

それでもハラハラドキドキの演出は見事ですね＾＾

ただ作中解説されない謎が残ってしまったのは残念です。

一番疑問に思ったのはショーンの死んだ理由ですね。

現実世界に出ると長くは生きられないという説明はありましたが、なぜそこまでして現実世界に出てきたのか。

アスナに会ったかったのならば、なぜそこまでしてアスナに会おうと思ったのか。

アスナがアガルタを目指す動機ともなる重要な部分が曖昧に感じてしまつたので、そこはマイナスでした。

また、全体的にテーマがぼやけてしまつた気がします。

モリサキがメインなのか、アスナの心がメインなのか。

滅び行く地下世界アガルタの悲しさがメインなのか人間の欲深さを表現したいのか。

「よーわからん」というのが正直な印象です。

それでも最後まで飽きずに楽しめたのはよかったです。

少なくとも「観て損した」とはならない作品でした。

それは確実に言えます。

観終わった後に清々しい気持ちになれたのはよかったです。

面白いトレビ番組のないお正月休みには、ぴったりの作品かもしれません。

昨夜は「ONE-PUNCH動画の生放送で、往年の名作アニメ「トッグをねらえ」「トッグをねらえ2」そしてそれぞれの劇場版を延々8時間以上観てしまいました。w w

もちろん時々抜けながらでしたが、一気に観たのでかなり疲れました。^ - ^

それでもすげく充実感を覚えましたね。

やっぱり名作は色褪せないです。

「2」は微妙でしたが(^ - ^ :)

3. 間違いとは言えないけどあんまり美しくないからできれば避けたい言葉

タイトル 間違いとは言えないけどあんまり美しくないからできれば避けたい言葉

日付 2012年 01月 04日 (水) 11時 18分 5
6秒

【謎の感動】【GUIMI】消火器がダンディーで気が利く場合【オリジナル曲】の聖騎士の活動報告】

Xanadu 第四章 第五節 2,407字更新

小説概論～活報録2012～【映画鑑賞日記】更新

昨夜は夜9時過ぎにものすゞく気持ち悪くなつて、すぐに寝てしましました(ーーー)

10時間くらい寝てよしやく落ち着きました。

今朝は7時くらいから「Xanadu」書いてました。

「心配いただいた方々、ありがとうございましたm(ーーー)m

この曲は昨年の大晦日にアップされた曲です。

有名な「家の裏でマンボウが死んでる♪」の曲です^ ^

僕は「この曲では断然「クワガタにチヨップしたらタイムスリップした」が好きなんですが、この曲もストーリーがいいですね。」

シユールな絵もいいし。

裏マンボウさんのお姉さんが描かれたってことなんですが、いつもお上手だなあって思っています。

そして笑える曲なのに、なぜか感動させられてしまつwww

ほんと不思議な曲です^ ^

昨年の年末から何人かの方に下読みを頼まれて、けつこう読みませていただいてます。

そんな中でいくつか気になつたことがあつたんですが、支障のない程度に考察してみたいと思います。

今回は「厳密には間違いとは言えないけど、美しくないからできれば避けたい重複表現もしくは重複表現っぽい言葉」です。

長いww

ちなみに「重複」は、正しくは「ちゅうふく」と読みます。

「じゅうふく」ではあつませんのでお間違えのないよう。

もつとも、今ではじめからでもいじとなつてきているのです。

1、「違和感を感じる」

これよく田にします。他にも「疎外感を感じる」とかも書いてしまう時があります。
厳密に言えば文法的に間違いとは言えなこよつです。
でも何か美しくない。

「感」が重なつていいからでしじょうね。

「～感」の時点で「感じる」の意味が入つていますから、「違和感」を覚える」つて書けばなんら問題はない。

「覚える」には、「記憶する」「学習して身に着ける」以外にも「感じ」る」という意味があります。
「美しい」にも個人差はあるでしょうが、僕はこの書き方は避けています。

2、「後で後悔する」

これ有名なボカロ曲「ワールド・イズ・マイン」に出てきて、めつちやがつかりした覚えがあります。

アメリカのCMで流れた国際的なボカロ曲なのに。
歌詞に明らかな重複表現が、つまり“文法間違い”が入ってるんですね。

これは明らかに重複表現です。

正しくは「後悔する」とか単に「後悔する」でいいんですね。

3 「返事を返す」

これは僕もよくやつてしまいます^ ^

読み返した時だいたい気づいて直していますが。

これも厳密には間違いではないようです。

「返事」を名詞として捉えれば、「返す」という動詞には意味的にきちんとつながります。

でもなあ…

「返」が重なっている時点で、あまり美しくないなって思っています。

読んだ時に気づいても指摘したりはしませんが、自分では書かないように注意しています。

4 「血が出血する」

さすがにこれは間違いでしょうね。

見た時は仰け反ってしまいました。

「頭痛が痛い」とか「火事が燃えてる」「馬から落馬する」と同じですね。

これは指摘します。

他にも目に見えて重複表現ではなくても、結果的に重複表現になってしまふ場合もあります。

例えば、

>

太郎は棚の扉を開けた。棚の中には太郎のアルバムがあつた。太郎は棚の中からアルバムを取り出して、アルバムの表紙を開けてみた。

まず「棚」が一回続いているのドリズムが悪くなっていると思します。

「太郎」という動作の主体が何度も出てきて、これもなんとなくウザい。

「アルバム」もこの短い文章の中に三度も出てきてどうにも読みづらい。

僕が修正するところな感じです。

>>太郎は棚の扉を開けた。中にはアルバムがあり、彼は取り出して表紙を開いてみた。

美しい文章、わかりやすい文章かどうかは別として少なくとも読みやすくなつたかと。

日本語は省略の言語ともいわれ、あきらかにわかる場合主語は省略できる。

この場合動作の主体が「太郎」であるのは明らかなので、いちいち「太郎は」と書かなくても読者には通じるんですね。

「アルバム」もそうです。

すでに「取り出した」のはわかっています。

読者の脳内には、太郎がアルバムを手に持っている姿は映つてるんですね。

だからあえて、「アルバムの表紙」などと書かなくても通用する。

「と言つた」という表現も同じで、「」があれば「言つた」のはわかる。

あえて「言つた」ことを強調したければ別ですが、会話の流れをよくしたければ取り立てて書く必要もない。

例を挙げてみます。

^ (修正前)

「そんなのどうだつていいでしょ！」

とマリアは言つた。マリアは足音高く部屋を出て行つた。

^ ^ (修正後)

「そんなのどうだつていいでしょ！」

とマリアは言つた。マリアは足音高く部屋を出て行つた。

マコアは足音高く部屋を出て行つた。

特に問題はなさそうです^ ^

こんな風に削れるといふは極力削つて、読みやすくリズムのある文章を心がけたいと常に自戒しています。

他の方の小説を読んで悪いところを指摘するのも大事ですが、こうして自分の勉強にするのもいいことだなあなんて思つてます。

他人の文章を読んで自分の文章の悪いところに気づくこと、よくありますからね(^—^ ;)

読み返す時、音読するのってすげいいです。

小さな声でいいから、一度ぶつぶつ音読してみてはどうでしょう。

実際になさつている方はけつこう多いです

きつとおかしなところに気づくと思します。

僕は聞かれた時、たいていそんな風に答えてします。

4・プロデューサーを目指すアマチュア作家は、絶対にデビューできない

タイトル プロデューサーを目指すアマチュア作家は、絶対にデビューできない

日付 2012年 01月 06日 (金) 11時 45分 2
0秒

【誰か小説化希望！】<【オリジナル曲PV】WORLD-S
END UMBRELLA【初音ミク】な聖騎士の活動報告】

Xanadu 第四章 第五節 2,193字更新

小説概論～活報録2012～【間違いとは言えないけどあんまり
美しくないからできれば避けたい言葉】更新

この曲はかなり古い曲なのですが、時々無性に聴きたくなってしま
います。

曲調は「マトリョシカ」「ワンダーランドと羊の歌」「パンダヒー
ロー」などのハチさんらしいのですが、ストーリー性がハンパない
んです。

壮大なSFかファンタジー大作って感じです。

南方研究所さんの動画のクオリティも高い。

ほんと、マジで誰か小説化してほしいボカロ曲です。

いきなり攻撃的なタイトルですみません（^—^・）

この言葉は、あるプロ作家さんの言葉です。

甘口な言葉です。

【プロトビューや目標、言ひ換えれば「ゴール」にしてこられるアマチュア作家はプロトビューやではない。万が一運良く一作出せたとしても、一作目以降はない。本当にプロトビューやを目標すなら、「ビューやを目標とするのではなく、『誰よりも面白く作品を書ひこしてやる』という氣概を持つて創作に取り組むべき。】

とこいつことです。

なるほどと想いました。

なひとつでも、プロトビューやを目標されている方は多く見受けられます。

みんな本当にがんばつていらっしゃる。

仕事や勉強で疲れている体に鞭打つて創作に打ち込んでいらっしゃる姿には、本当に感動します。

できる限り応援したいと思います。

でもその目標を見誤らないでほしいなって思っています。

デビューはあくまで通過点。

その先を見据えないとプロにはなれない。

また、一作で満足しようとthought、「一作も出せない。

まずはストイックに、自分の作品と向き合つのが大事かなって思います。

なろうはアクセス数やお気に入り小説数など、いわゆる「人気のバロメーター」がはつきりとしています。

でもそれはあくまでも他人の数字。

人気作のマネをしたって人気は出ない。

自分にしか書けない「面白い小説」は絶対にある。

参考にするのは構わないけれど、それはあくまでも参考。

他人の作品・作風です。

僕が積極的にマニュアル本などを読まないのは、そういうところにあります。

文章や展開・構成に関してもそつだし、世界観や設定・キャラ立てなどもそうです。

アドバイスをいただけるのはありがたいし、礼節と思いやりのある痛烈な批判もありがたい。

でもやつぱりそれらは「他人の主観」であり「他の人の価値観による面白さ」なんですね。

参考になります。

しなきゃいけない。

でも自分の作風や面白さを追求することは別問題だと思っています。

自分の、自分だけの面白い小説をとことん研究して追求する。

それが結局はプロデビューにつながるのかと。

何度も言いますが、僕の目標はプロデビューではありません。

でも「誰よりも面白い小説を書きたい」という点では同じです。

数字や流行に流されず、自分だけの最高に面白い小説を書けるようになりたいなって思います。

5・読書日記～「タラ・ダンカン2 呪われた禁書 下」ソフィー・オドウ

タイトル 読書日記～「タラ・ダンカン2 呪われた禁書 下」ソ
フィー・オドウ ワン＝マリ＝ゴー＝ラン・著
日付 2012年 01月 08日 (日) 13時 36分 5
9秒

【独特の世界観】【オリジナル曲♪】結ンデ開イテ羅刹ト骸【初音ミク】を聴きながらテンションを上げて いる聖騎士の活動報告

恋の相手は魔王様!? 【第47話】公開、

【閑話5】予約投稿 (1/28 -

12:00)

この曲は「マトリョシカ」「パンダヒーロー」で有名なハチさんの曲です。

この方の曲ほとんど好きなんです。

ツイッターでもフォローさせていただいてます。

歌詞が難解でなかなか奥深いです。

また、この曲はその世界観や曲調も独特で味があります。

怖い雰囲気もありますね。

とにかく、既存のボカロ曲とは一風変わったイメージです。

勇気のある方はどうぞ♪

「タラ・ダンカン」の2話目の下です。

かなり世界観が壮大になつてきました。

1巻から引き続いた伏線も徐々に回収されつつあり、設定の緻密さがよくわかります。

文章は相変わらず英語の和訳文みたいな散文ですが♪

行動や心理の流れが唐突なんです。

ぶつた切りつていうか。

とうあえずあらすじです。

魔術を使うと“血の約束”のために祖母イザベラ・ダンカンは死んでしまう。

その契約を解除しようと、タラは煉獄の裁判官に会いに行く。
ところがそんな中、自らの中にある魔術の力をなくすために“黒バラの汁”を飲んだ小人のファーフニールは、“魂を荒らす者”に取り憑かれてしまう。

“魂を荒らす者”とは、強力な負の魔法を持った存在で、このまま

なら別世界は滅亡してしまつ。

“魂を荒らす者”に対抗できるのは、“白い魂”だけ。
タラとその仲間たちは、“白い塊”を探す。

その最中、なんとバンパイアのドラゴッシュ先生が殺人を犯した現場に遭遇してしまつ。

別世界のバンパイアは、人間の血を飲むと呪われてしまうのだ。
そして人間の血を吸うことは、法律で厳しく制限されている。
囚われの身となつたドラゴッシュ先生は、夜牢屋を抜け出してタラの部屋へ現れる。

なんとタラの命を狙う者がいるから気をつけろという。

そして翌朝、タラは自室で死体となつて発見された

途中までですが、ネタバレを防ぐために書くとこんな感じになります。

この巻では、ファンタジックな展開以上に人間ドラマに重点が置かれています。

事故死した少年が、残された両親のことをカルに頼むシーン。

頑固で強気だったノームの王様が愛する婚約者のために奮闘し、その助ける手段を叱られてオドオド涙目になつてしまうシーン。

意地悪で冷血に見えたバンパイアが、愛する人のために自らの命を投げ出そうとするシーン。

人間のタラとエルフロバンの恋。

そういった、ファンタジーなのに人間臭いドラマが全編に渡つて繰り広げられている。

「これはよかつたですね。」

「文章がもつと情緒的なら泣けたのに（^__^・）」

もちろん、魔法の戦いはお見事です。

敵であるサングラー・ヴ族の支配者マジスターとタラが手を組んで“魂を荒らす者”と戦うクライマックスシーンは、壮大な映画を観ているよ、ひ。

思わず手に汗握りました。

タラの命を狙う暗殺者の正体も、ラスト近くで判明します。

意外な人物で、今まで張られていた細かい伏線が全部一気に回収されます。

これは爽快でしたね。

ただ、その暗殺者がタラの命を狙う理由が非常に興味深い。

「仕方ないな」って思えてしまつんですね。

これも“人間ドラマ”的一つです。

タラはその膨大な魔力のため、金色のドライコンに変身する」とがで
きます。

でも中身は人間のままなので、「飛ぶ」と「う」とがよくわからな
い。

簡単に言つてしまえば、飛ぶのが下手なんですね。w

仲間たちはタラの背中に乗つて飛ぶことを、極端に嫌がります。

「マジスターに捕まつた方がよっぽどいいよー」というカルのセリ
フには嘆きました。w

それでもなんとか飛ぶことはできるのですが、何よりも着地が下手。

着地といつより「墜落」です。

着地するたび地面が抉れて、地形が変わつてしまつんです。

この辺の小技も面白いですね。

ストーリーには全然関係ないのですが。w

ファンタジックな世界観や緊迫した魔法戦。

若者同士の淡い恋愛話も織り交ぜながら、壮大なストーリーが少し
ずつ結実していく様はお見事ですね。

ただやはりヨーロッパのファンタジーらしく、細かい世界観の作り
込みや設定は日本のファンタジーには一歩及びません。

精緻さでは「獣の奏者」の方が一枚上手ですね。

巧緻な美を追究した和食が「獣の奏者」ならば、豪快なステーキが「タラ・ダンカン」です。

それでも「ハリー・ポッター」よりは世界観は壮大な気がします。

手元にはこの巻までしかなく、続きをありません。

またどこかで見かけたら、ぜひ続きを読みたいと思います。

まだまだ図書室には読みたい本が山ほどあるのですが、次回からは購入した本に取りかかりたいと思います。

なろうで相互コーナーにしていただいている方の書籍もあるのですが、お金を払って読むからには思つたことを正直に書きます。

例え批判のみになつてしまつたとしても。

それが礼儀だと思つていますので。

まあそんなことにほんならな」と思つますが^ ^

最後にお知らせです。

「恋魔」の」となんですが、いつも読んでくださつてありがと「うござりますm(一一)m

現在予約投稿では第一 chapter【ヴァルキリー出陣】が終わり、閑話を書いていっているところです。

それでこの閑話なんですが、閑話とはもともと「無駄話」という意味で本編には関係のない話のことです。

僕は「恋魔」に限らず、閑話はすべて「読まなくても本編に影響のない話」として書いてきました。

しかしへしても書きたい閑話があり、しかもその内容が本編に深く関わりのあるお話なんです。

なので「恋魔」の閑話に関しては、本編同様に読んでいただければと思います。

「それじゃ『閑話』じゃねえじゃん!」とこうい批判は承知の上です。

理由は機会があれば述べますが、今はぜひ閑話も本編の一部として読んでいただきたいとお願い致します m(—_—) m

自分で決めたポリシーを曲げるのを心苦しいのですが、「書きたいお話を書く」というそれ以上に大切な僕のポリシーに基づくものです。

どうかご容赦ください m(—_—) m

これからもこの未熟者を、どうかよろしくお願い致します m(—_—) m

— m

6・【血口流】読点の打ち方

タイトル 【自己流】 読点の打ち方
日付 2012年 01月 09日 (月) 12時 28分 3
2秒

【視聴する勇気のある方はどうぞ！】
音ミク【オリジナル曲】リンク【初音ミク】の聖騎士の活動報告

恋の相手は魔王様！？ 【第48話】公開
12:00
【第51話】予約投稿 (1/28)
9:12:00

今日が祝日だと完全に忘れていました(へへへ)

なので「Xanadu」を書く気まんまんだったんですね。

つるめぐさんの教えていただいて気づき、予約更新日を全部前にズラしました。

そこで気づいたんですが、今年は元旦が日曜日だったので2日は祝日だったんですね。

普通に「Xanadu」を更新させましたね。

「恋魔」の更新が一回遅れてしまつた形になります。

申し訳ござりませんでしたm(—_—)m

普段ケータイのスケジュールでカレンダーを確認しているものです
から、こういう祝日つて気づかないんですよね。

これからは注意します。

さて、ボカラ曲紹介は、ハチさん特集になりかけていますw

今日の曲もハチさんの曲です。

死にたい程の恋。

相手を殺したいほどの愛情。

そういう、た狂氣じみた恋心が、独特の世界観とイラストで語られて
います。

ハチさんは、自身でも絵を描かれるんですが、味のあるタッチです。

すごい才能のある方なんだなあつて思います。

ただこの曲はイラストがかなりエグいので、苦手な方は引かれるか
もしだせません。

歌詞もかなりエグいんですが(へーへー)

大丈夫な方はどうぞ

そつじさん主催の企画「イヅに世界とキ!!」のガチ感想を、現在書かせていただいています。

これは参加者しか閲覧できない掲示板で行っているので他の方は見る事はできないのですが、非常に勉強になっています^ ^

昨日よつやく一作品のガチ感想を書かせていただいたところなんですが、その中で読点についていろいろ考えました。

自分で指摘しておいて何なんですが、読点の打ち方って難しいです。文法的には「読みやすくするため」「文法的に混乱しないよう、意味をはつきりさせるため」とはなっています。

しかしこれは感覚的な部分が多く、はつきりとした決まりはありません。

なので僕なりの読点の打ち方を考察してみたいと思います。

これはあくまでも“僕の”やり方なので、絶対的に正しいところではありません。

「いづこつやり方もあるのか、でも自分は自分のやり方である」でいいと思います。

こうして活報で書くと「お前に読点の打ち方を教えてやるぜ」「的に悪意の解釈をされる恐れがあるのですが、自分の研究のためにすので興味ない方はブラウザバックでお願いします。

僕は読点を打つ時、上記したように「読みやすくする」「意味を整理する」という目的で打ちます。

でも正直なところ、読点を打たなくともいい文じゃ良文というポリシーがあります。

なので、打つ必要がない場合は極力読点は打ちません。

しかし長文になつたり、どうしても二つつかの内容を一文で表現したい時があります。

そういう時には読点を打ちます。

ただし【一文に読点は一つだけ】を原則にしています。

もし二つしても二つ以上にならざるを得ない場合、その文は一文以上に分けます。

それでも不都合は生じます。

例を挙げます。

? 「うわー、おこー、やめよう。」
? 「うわー、おこ、やめよう。」
? 「うわ、ねいやめよう。」

? は読点がなく、文が三つ。

? は読点が一つで文は一つ。

? は一つで読点は一つです。

どれが正しいことは文法的には言えません。

どれも正しい。

後は好みの問題になるでしょう。

ちなみに、僕はこうこう場合まだいたい?で書きます。

他は「- (Hクスクラマー・シヨンマーク)」が複数あり、文として
は美しくないと思つからです。

記号は本来、日本語にはないもの。

ラノベを読み慣れた方はおそらく、?か?が読みやすいと感じるのは
でしょう。

しかし「ー」に限りず、記号も一文につで十分意味は通じる。

あとは書き方の問題です。

記号を多用すると、文は非常に安っぽく稚拙に感じてしまいます。

僕は、ですよ(^ー^・)

?は「おー」という呼びかけと「やめろよ」がくつついでしまってわかりにくく感じる気がしますが、読めばほとんどの読者は意味がわかると思います。

「おー」と「やめろよ」を分けて書かれている文を多く目にしているため、分けるのが『普通』って感じてしまうんですね。

大事なのは意味が通じるか通じないかのこと。

文脈にもよりますが、まさか「おいや」と「めろよ」で分けて読む読者はいないでしょう

「おー」と「いやめろよ」もやうです

分けた方がもちろんわかりやすいですが、記号の多用を回避する方を僕は選択します。

話がズレてきたので、読点の話に戻します。

「うわ、おー、やめろよー。」

これは読点を多用したパターンです。

「うわ」は品詞でいうと感動詞にあたり、基本的に読点や記号で

独立しないと読みづらくなる。

でも記号は多用したくない。

そうなると僕の場合、必然的に?になるわけですね。

もしどうしても不格好な文と思えてしまったらば、文全体を変えます。

それが「推敲」でしょうからね。

理想は読点なし。

入れても一つだけ。

不必要に読点を多く入れてしまって、読むリズムが崩れてしまう。

それはせっかくのよこお話の質を、下げてしまはうことにつながる。

文章表現力や書く技術は、公募などにおいてさほど重要視されないと言います。

確かにやつでしょ。

しかしこういった技術的な「読みやすさ」「わかりやすさ」を追求

あるのは、作品全体の“質”を高める」とつながるよつな気がします。

まったく同じ文章が一つあったとして、読点の打ち方がおかしい方ばかりしても「読みづら」と感じられてしまうでしょう。

それは結果的に“質”につながるんじゃないかなあって思っています。

以上まで記事を読まれた方はお気づきになられたでしょうか。

以上までの文はすべて「読点なし」か「一」です。

読みづらかったでしょうか？

今後もいろいろ研究していくたいと思します^ ^

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1061ba/>

小説概論～活報録2012～

2012年1月10日20時47分発行